

災害に備えよう

大雨、台風などが来る前に確認！

6月から10月までは大雨や台風による「風水害」や「土砂災害」が発生しやすい時期です。水害などから自分自身や大切な人を守るため、テレビやラジオなどの気象情報に十分注意し、非常持ち出し品の準備や避難経路の確認など、日頃から備えましょう。

【問】危機管理防災課 ☎603-8031



水害・土砂災害

大雨が降ったら？

大量の雨が短時間のうちに降ると、河川の増水や堤防の決壊などによる洪水、内水氾濫などの水害が起こることがあります。また、山や崖が崩れたり土石流が発生するなど、土砂災害の危険性も高まります。

避難のポイント！

避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。また、避難先は、市が避難所に指定している施設（小・中学校、公民館など）だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えましょう。

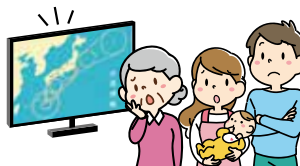


防災気象情報と5段階の警戒レベル

気象情報や避難情報は5段階の警戒レベルに合わせて、テレビなどで提供されます。

警戒レベル1

今後の気象状況が悪化する恐れがあるため、最新情報に注意する



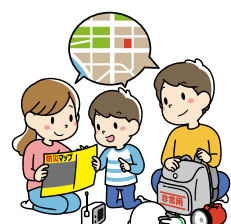
最新情報に注意

— [取るべき行動] —

防災気象情報や気象庁の「早期注意情報（警戒級の可能性）」などの最新情報に注意しましょう

警戒レベル2

気象状況が悪化している状況



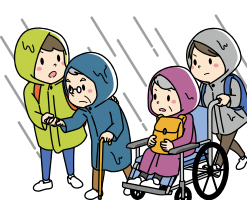
避難行動を確認

— [取るべき行動] —

気象情報などを確認しながら、避難場所や避難経路、情報の入手手段、避難のタイミングなどを再確認しましょう。避難時の荷物をすぐに持ち出せるよう準備しましょう

警戒レベル3

川の急激な増水など、災害の恐れがある状況



高齢者などは避難！

— [取るべき行動] —

高齢者など避難に時間がかかる人は避難をします。その他の人も避難の準備をし、自発的に避難しましょう

警戒レベル4

橋の下まで水が迫っているなど、災害の恐れが高い状況



全員避難！

— [取るべき行動] —

近所に逃げ遅れないか声を掛け合いながら危険な場所にいる全員が避難しましょう

警戒レベル5

水が堤防を越えてくるなど、災害が発生または切迫している状況



直ちに安全確保！

— [取るべき行動] —

すでに安全な避難ができないうちに危険な状況です。建物の上階や崖から離れた部屋に移動しましょう

気象庁からの情報に注意しましょう

高齢者等避難

避難指示

緊急安全確保

PICK UP 「内水氾濫」に注意しよう！

内水氾濫とは？

大雨などによる地表水の増加や河川の増水によって排水が追いつかず、用水路、下水溝などが溢れて氾濫し、土地や道路が冠水することを内水氾濫といいます。内水氾濫は浸水範囲が点在すること、川から離れた場所でも発生することが特徴です。



内水ハザードマップ

内水による浸水被害が想定される区域や避難に関する情報をまとめた「内水ハザードマップ」を確認し、避難経路や非常時の連絡方法を確認しておきましょう。

【問】上下水道局下水道整備課 ☎623-1421



起こりうる災害にどう行動する？

水害の他にも以下のような災害の発生が考えられます。**災害から命を守るためには、一人一人の災害に対する心構えや知識、備えが重要**です。

各災害でどのような被害が起こるのか、また、身を守るためにはどのような行動を取るべきなのかを確認して、適切な避難行動を取れるように備えましょう。



地震災害

大きな地震がきたら？

大規模な地震は、建物倒壊や火災の発生、土砂崩れ、液状化現象などの大きな被害を引き起こすことがあります。電気・水道などのライフラインの寸断が広い範囲で発生し、避難生活が長期化する可能性もあります。

地震災害から身を守る行動は？

外出時



ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらから離れる

ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる

在宅時



頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる

慌てて外に飛び出さない

火を使っている場合、**その場で消せるときは火の始末をする**。火元から離れているときは無理に火を消しに行かない

扉を開けて避難路を確保する



火山災害

火山が噴火したら？

火山防災マップを確認しておこう！

岩手山が噴火した場合の災害予想区域は、「岩手山火山防災マップ」で確認できます。



火山が噴火したら、大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流などが発生します。これらの火山現象は、避難までの時間の猶予がほとんどありません。

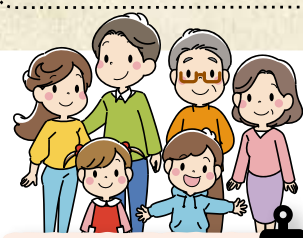
岩手山が噴火した場合、市内では降灰や融雪型火山泥流の影響が想定されます。あらかじめ被害が予想される区域などを確認しておきましょう。

【融雪型火山泥流】雪の積もっている時期に、溶岩や火砕流の熱で雪が溶け、土や砂などを巻きこんで流れ出すことをいいます。積もった雪が一気に溶けて流れ下るため、大量の泥流が広い範囲に被害をもたらします。

●覚えておこう！

指定緊急避難場所と指定避難所

「指定緊急避難場所」は、**災害の危険から緊急的に逃れるために指定された場所**です。一方、「指定避難所」は、**災害の危険性がなくなるまで一時的に滞在する場所**で、災害からできるだけ早く安全を確保できる場所に避難所を開設します。災害発生時は、市ホームページやテレビなどで、避難所の開設状況を確認しましょう。



災害に遭う前に家族で話し合う機会をつくろう

災害はいつどこで襲ってくるか分かりません。家庭における災害時の決まりごとを家族で話し合っておきましょう。



Q 災害時、家族と連絡をとる方法は決まっていますか？

災害用伝言ダイヤル ☎171

災害時に家族や知人との間で安否確認などの連絡ができます。

Q 避難場所や避難経路の確認はできていますか？

災害が起きた時に慌てずに避難するためにも、盛岡市防災マップなどを参考に、避難場所や避難ルートを事前に確認しておきましょう。

Q 備蓄品や非常持ち出し品の準備はできていますか？

水や食料は、最低3日分（水なら1日3%が目安）、できれば1週間分を目安に備蓄しましょう。また、カセットコンロや携帯ラジオ、モバイルバッテリーがあると便利です。

